

こども向けものづくり講座

14

概要

「こども向けものづくり講座」は、高岡短期大学の大学開放センター時代に文部科学省の大学等開放推進事業として平成11年度からスタートしました。

当初、平成14年度からの完全学校週5日制の実施に向けて提案され、平成11年度から13年度の3年間は、地域で子どもを育てる環境整備を目指した「全国子どもプラン(緊急3ヵ年戦略)」の1つ「大学子ども開放プラン」として実施され、全国の国立大学などの教育施設では小中学校が休業する土曜日、日曜日、夏休みに様々な事業を実施し、大学開放センターでは、次の事業を実施しました。

平成11年度「パソコンを使ったオリジナルグッズ作成教室」
平成12年度「蝋型鑄造でオリジナルグッズ制作」
平成13年度「親子で野鳥観察と巣箱づくり」

平成14年度からは、子どもたちの「理科・数学離れ」や「ものづくり離れ」を解決するために「大学Jr.サイエンス&ものづくり」として、次の事業を実施しました。

平成14年度「シンプルなものづくりー銀の指輪とスプーンー」
平成15年度「粘土で動いている人物をつくろう!」
こまと竹とんぼをつくろう!
平成16年度「青銅のキーホルダーを作ろうー蝋型鑄造の体験ー」

そして、平成17年度は「大学Jr.サイエンス事業」の予算を得て、「金属を とかして みがいて新発見!!」を実施し、県内の国立3大学の再編統合後は、地域づくり・文化支援センターへと引き継がれたものです。

目的

大学の専門的な教育環境の中で、地域の子どもたちにもものづくりを体験してもらい、ものづくりの楽しさだけでなく、ものづくりの歴史や文化、地場の工芸産業に興味や理解を深めてもらいます。

また、この活動が子どもたちから大人たちへ広がり、地域の方々に大学をより良く知ってもらい、地域と大学の交流につながることを目的とします。

内容

地域づくり・文化支援部門では、年度当初に芸術文化学部教員の中から、講座に取り組んでいただける教員を選び出し、その教員の得意分野から子どもたちが興味を持ちそうなテーマを設定しています。

実施時期については、高岡短期大学時代の平成16年度に実施した小・中学生対象の「ものづくり等体験講座に関するアンケート調査」の結果、小・中学校及び各自治体などで夏休みの土曜日・日曜日に各種多様な行事が組み込まれていることが多いため、講座への参加が望めないことから、夏休み期間中の平日に講座を開設することとしました。

平成18年度「みようつくろう音の世界 アフリカの楽器『ンビラ』を作ろう!!」

日時：8月9日(水)、10日(木) 10時00分～16時00分

平成19年度「センサーを使った手づくりゲーム」

日時：8月9日(木) 9時30分～15時30分

平成20年度「パソコンで紙飛行機をつくろう!!」

日時：8月12日(火) 9時00分～16時00分

平成21年度「すずのキラキラ★プレスレットをつくろう」

日時：8月11日(火) 10時00分～15時00分

平成22年度「紙で『くつ』をつくる」

日時：8月10日(火) 10時00分～15時00分

